

浜松市議会

# 市民クラブ会報

since 1983

2025年  
新春号



## 市民クラブ 会長挨拶

市民クラブ会長  
北野谷 富子

私たち党派市民クラブは「ものづくりのまち浜松」の地域経済や、社会を根底から支えている勤労者をはじめ、市民の声や意見を、具体的な施策として、形にすることを第一に活動しています。

2025年度に向け、より持続可能な社会を実現させるため、健康、医療、子育て支援、教育支援、環境保全、カーボンニュートラル、産業支援などの多種多様な分野において多様性と包括性を尊重して参ります。誰もが活躍でき、広く市民が「ウェルビーイング」を感じられるための積極的な政策提案をして参ります。

## 令和6年度の市政運営に対する政策提言

「ものづくりのまち浜松」の地域経済や社会を根底から支えている勤労者をはじめとする市民の声や意見を具体的な施策や予算に反映して頂きたいとの想いから2025年度の市政運営に対する政策提言を行いました。



浜北のサーラグリーンアクア閉鎖による水泳需要に対応するため、市内プール施設の利用者数の変化なども調査し早急に対策していくこと。また市民のスケート需要を調査し、市内スケートリンクに伴う機会損失への対策を行うこと。



令和5年7月に認可された特定小型原動機付自転車は、地方のラストワンマイルや、免許返納高齢者の移動を担う期待がある。歩行者や他の交通と共存する方策を至急検討し、安全に利用できる環境を作っていくこと。また駐車場整備も計画的に行うこと。

こども基本法で求められているこどもの意見表明を進めるために、意見や声が出し難い子どもの声を代弁する子どもアドボカシー活動の推進に加えて、そのはたらきをする子どもアドボカイトの養成・育成を支援すること。



危険で管理にコストが掛かる街路樹の伐倒・伐根を計画的に行い、安全な歩道・車道を維持すること。また、雑草で見通しが悪化する中央分離帯等をコンクリート化し、交通安全と同時に低コストで管理し、美観を維持すること。

遠州灘海浜公園篠原地区へ県が計画している多目的ドーム型スタジアム建設にあたっては、企画段階から積極的に関与し、スポーツによるまちづくりを推進すること。また、周辺整備にあたっては地域活性化に加え、交通安全を考慮すること。

幼稚園・保育園が行うアレルギー児対応について、市立では調理時にアレルギー除去を行い、私立は1人あたり毎月3,000円の補助で対応しているが、アレルギー児の増大や物価高騰の状況のなか、補助内容は見直していくこと。

ビーチ・マリンスポーツの聖地の名に恥じぬよう市民がビーチ・マリンスポーツに親しむ機会を増やし、その適地である本市スポーツ環境の周知を強化し、それぞれ全国大会や国際大会の誘致に向けた取り組みを推進すること。



### かたちになりました。

子育て支援広場での一時預かり10月から市内4か所で受け入れ開始!



子ども医療費がR6年4月から乳幼児まで無償化に!



ロボット草刈機の導入に向け、実証実験実施!



重点対策エリアを12→15エリアへ拡充(安間川上流、有隣川、松小池川エリアを追加)



## 本議会で代表・一般質問



Q 公園緑地などでは自動ロボット草刈り機を活用すべき。

A 電動ロボットは人手不足を補い、夜間も無人で行える利点がある、また刈草の廃棄処分が減ることは温暖化対策にも寄与する。11月の四ツ池公園で実証実験の後、導入に適した場所の検討等、今後導入に向けた取組みを進めていく。



岩田 邦泰

Q 企業や団体との官民連携によるウェルビーイングなまちづくりを展開すべき。

A 官民連携によるまちづくりを楽しく学ぶカードゲーム「コレクティブ・インパクトゲーム」などを通じて、若者をはじめ、幅広い世代の市民が主体的にまちづくりに参加できるよう多様な機会を創出し、一人ひとりが幸せを感じられるスマートシティを実現していく。



斉藤 晴明

Q 駅南地区の産官学連携のまちづくりについて。

A 大学の移転を契機としてまちなかのにぎわい創出に向けて庁内の関係各部署が連携し、ハード・ソフト面から対応を検討するとともに、大学と地域が連携協力できるように支援していく。



大城 七瀬

Q 本市として、子供たちや教員がより安心して学校生活を送るためにも、ペーパーティーチャー(教員免許状を取得したが、現在学校で勤務していない方)など、一人でも多くの教員を確保する支援の充実が必要であると考えらるがどうか。

A 他都市の取組とその効果などについて情報収集し、ペーパーティーチャー向けの相談会を実施していく。



北野谷 富子

Q 高架化後の遠州西ヶ崎駅にバス・タクシーのロータリーを設けるなど交通結節点としての活用を。

A 本年度より遠州西ヶ崎駅周辺の新たな土地利用の可能性調査を実施している。今後、交通事業者とともに、交通結節点の機能向上に繋がる取り組みや新たなバス路線の可能性について検討を行っていく。



鈴木 真人

Q 遠州灘海浜公園篠原地区道の駅について、バイクユーザー目線の施設とするべき。

A 本市は世界的なバイクメーカー創業の地であり、国内外に広く知られている。バイクのふるさとにふさわしい道の駅とすることにより、地域活性化につなげていく。



花井 洋介

Q 2月議会にて一般質問予定

サーフィン国際大会誘致について。消防分団活動について。災害情報周知の改善について。ウェルネスシティ実現に向けての健康経営推進について。認知症を取り巻く環境について。天竜材の普及に向けての取り組みについて。

3月7日  
午後  
登壇予定



石津 陽子

※ウェルビーイングとは…身体的・精神的・社会的に健康であり、幸福度・満足度が高い状態のこと。